



現在、世の中には様々な『ブロック解除ワーク』が出回っていますが、
実際のところ、

「ブロックのところまで駆け寄って、薄皮一枚剥がして満足して終わる『ブロック解除ワーク』

もあれば、

「効率良く、根深いブロックに対処出来る上に、家族や社会にまで影響を与える『ブロック解除ワーク』

もあり、その実態はピンキリです。

これから本書でお伝えするノウハウは、魔法使い A-Ki☆。が、『自分にピッタリのブロック解除ワーク』を求めて研究していく中で、「学んだこと」、「発見したこと」、「高次の存在から伝えられたこと」をまとめたものです。

自分自身のブロックに向き合う中で培ったものであるのはもちろんのこと、ワークショップを開催し、複数人に対する検証&実践を通じて磨かれてきたものですので、**効果は実証済み！**

あなたのブロック解除のサポートに、お役に立てれば幸いです^^

1. はじめに

1.1. このテキストについて

本書は、『ブロック解除ワーク』についてまとめたテキストです。

元々は、【メールセミナー・有料コースの姉妹品】という位置づけで書き始めていたのですが、

「内容的に、毎日配信という形よりも、一度にまとめて提供する方が向いている」
「文字だけの説明では限界がある」

などの理由から、『電子テキスト』という形で配信することにしました。

当初は有料で販売しようと思っていましたが、書き進めていくうちに「これを有料というのも何か違うな??」
という感じがしましたので、**無料での配布**とします^^

1.2. 質疑応答について

ワークを進めていく上で、分からない部分や迷った部分が出てきた場合、サイトの掲示板でご質問ください。

<http://ms.elty.net/bbs/>

質問ルールとしては・・・

『掲示板で公開して、誰でも見られるようになって構わない質問』→『質問掲示板』（無料）
『個別に対応して欲しい質問』→『ガイドからのメッセージ伝達サービス』（有料）
『他の人の参考にならない、個人的な確認』→『ガイドからのメッセージ伝達サービス』（有料）

という感じです。

1.3. 関連する学びについて

ブロックを解放するにあたって、『潜在意識やエネルギーワークの基礎知識』があった方が何かと便利ですので、
本テキストに併せて、

【魔法使い養成講座・基礎編（無料）】(http://ms.elty.net/ms_kiso/)

も、受講されることをオススメします。

また、本テキストでは、『過去生の救出ワーク』は紹介するに留めますので、
「本格的に過去生の救出をやりたい！」という方は、

【チャネリングコース（月 5,000 円・満足支払い型）】(http://ms.elty.net/ms_ch/)

を受講してくださいね！

（『過去生の救出ワーク』は、4ヶ月目が出てきます）

目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. はじめに | 2 |
| 1.1. このテキストについて | 2 |
| 1.2. 質疑応答について | 2 |
| 1.3. 関連する学びについて | 2 |
| 2. ブロック解除の基礎知識 | 5 |
| 2.1. 『ブロック』ってそもそも何？ | 5 |
| (コラム) ブロック解除に関連する用語 | 6 |
| 2.2. ブロックの存在理由 | 7 |
| ● ブロックは、自分を守るための道具 | 7 |
| ● ブロックは、ハイヤーセルフ（高次の自己）にとっての遊び道具 | 8 |
| ● ブロックは、高次の存在が、地球に降り立つためのツール | 8 |
| 2.3. ブロックの性質について | 9 |
| (コラム) 関係が深まるほど、同時に、相手を嫌いになっていく心理 | 10 |
| 2.4. ブロックを外す必要性 | 11 |
| 2.5. 好転反応について | 13 |
| 2.6. ブロックの構造と仕組み | 15 |
| 2.7. 矛盾によるロック | 17 |
| 3. 顕在意識と潜在意識 | 19 |
| 3.1. 顕在意識と潜在意識の基礎知識 | 19 |
| 3.2. 顕在意識と潜在意識の構造 | 19 |
| 3.3. 潜在意識下での干渉 | 20 |
| 3.4. ブロックを守るための、潜在意識の手口 | 21 |
| 4. ツールを用いないブロック解除ワークの実践 | 23 |
| 4.1. 【炎の浄化ワーク】によるブロック解除 | 23 |
| ● 【炎の浄化ワーク】の流れ | 23 |
| 4.2. 【物質変換ワーク】によるブロック解除 | 25 |
| ● 【物質変換ワーク】の流れ | 25 |
| ● 【物質変換ワーク】の背景・理論 | 27 |
| (コラム) 高次の存在は万能ではない | 28 |
| (コラム) ブロック解除のスタート地点 | 29 |
| 4.3. 【自動掃除ロボット】によるブロック解除 | 30 |
| ● 【自動掃除ロボット】によるブロック解除の流れ | 30 |
| (コラム) ブロック解除ワークの使い分け | 31 |
| 4.4. 過去生の救出ワーク | 32 |
| 5. ツールを活用したブロック解除ワーク | 33 |
| 5.1. エネルギーカードについて | 33 |
| 5.2. カードの価格と注文 | 33 |
| 5.3. カードによる水の浄化 | 33 |
| 5.4. カードの重ね合わせについて | 34 |
| 5.5. ブロック解除の場について | 34 |
| 6. ブロックの炙り出し | 35 |
| 6.1. ブロックに気づくということ | 35 |
| 6.2. 定番のブロック | 35 |
| 6.3. 「自分の発している言葉」からブロックを探る | 36 |
| (コラム) ブロックと攻撃性 | 37 |

| | |
|---|----|
| 6.4. 「感情」を辿ってブロックを探る | 38 |
| (コラム) 能力と人格は一致しない | 38 |
| (コラム) 感情の吐き出しについて | 39 |
| 6.5. ブロック外しに対するブロック | 40 |
| 7. その他・ブロック解除について知っておくと良いこと | 41 |
| ● ブロックが外れたかどうかの確認法 | 41 |
| ● 熟練者のサポート効果 | 41 |
| ● グループワークの効用 | 42 |
| ● 潜在意識の恒常性維持機能 (ホメオスタシス) について | 42 |
| ● ハイヤーセルフ (高次の自己) に対する説得 | 43 |
| 8. よくある質問とその回答 | 45 |
| ● Q. ブロック解除できる自信がありません。本当に私でもブロックを外せますか? | 45 |
| ● Q. 家族に対するブロックを外すことによって、家族を蔑ろにするようになりませんか? | 46 |
| ● Q. ネガティブなことを吐き出したら、それを引き寄せたりしないですか? | 46 |
| ● Q. ブロック解除って、どれくらいの頻度で、何日くらいやればいいんですか? | 47 |
| ● Q. A・Ki さんはどれくらいブロック解除やったんですか? | 47 |
| ● Q. ブロックをやっつけろ! という人がいましたが、あれはどうなんでしょう? | 48 |
| 9. 終わりに | 49 |
| ● 色々と紹介 | 50 |

2. ブロック解除の基礎知識

2.1. 『ブロック』ってそもそも何？

現在、スピリチュアル業界では、多くの人が独自の『ブロック解除ワーク』を開催しています。

しかし、実は、『ブロックの定義（「そもそもブロックって何？」という部分）』は、人によってまちまちで、
「みんな好き勝手にバラバラなことを言っているというのが、この業界の実情」
です。

ですから、

「相手がどういう意味で『ブロック』や『ブロック解除』という言葉を使っているのか」
を意識しないと、話が噛み合わなくなってしまいます。

実際、色んな本やサイトを見て、「いろんな意見に振り回されて混乱した」という方も少なくないでしょう。

というわけで、ここで最初に、『本テキストにおけるブロックの定義』を明確にしておきたいと思います。

このテキストで言うところの『ブロック』というのは、

- 『トラウマ』
- 『信念』
- 『過去生からの影響』

以上3つのうち、いずれか（あるいはそれらの組み合わせ）により、
思考や行動をする際に、何らかの形で

『制限』
『抵抗』
『不都合』

が出てくること。

を、指しています。

分かりやすい例を挙げると、

「お金のブロックがあると、お金を受け取る際に、恐れ多いなど感じてしまい、自分から拒んでしまう」
「人間関係のブロックがあると、仮に自分の主張に正当性があったとしても、怖くて引っ込めてしまう」
「性のことに興味があるのに、どこか汚らわしいとも思ってしまい、自分の中で板挟みになっている」

などなど。

こうした『制限』『抵抗』『不都合』は、そのブロックを揺さぶるような状況でのみ発動します。

つまり、

「ブロックがあっても、その分野に関わっていない場合には、特に不都合は感じないし、普通でいられる」ということ。

ですが、

「その分野の話が出てくると、途端に思考停止する」

「その分野に向き合おうとすると、原因不明の不安や恐怖、怒り、拒絶反応が起こる」

「その分野に関わると、緊張したり、動悸が激しくなったりする」

といった感じで、ブロックにちょっとでも触れると、様々な『不都合』が表面化します。

もし、何らかのきっかけでトラウマが解消されたり、信念を書き換えたりすると、仮に同じ現象に向き合ったとしても、不都合な反応が起きなくなります。

これが「ブロックが外れる」ということ。

そして、この『ブロック外し』を意図的に行うのが、『**ブロック解除ワーク**』です。

(コラム) ブロック解除に関連する用語

このテキストでは、

『ブロック解除』

『ブロック解放』

『統合』

を、ほとんど同じ意味で使っています。

(文脈に応じて、語感の良いものを選んでいきます)

一方、意味の異なる紛らわしい用語として、

『ブロック除去』

『ブロック破壊』

というものがあります。

これらは、言わば「自爆技のようなもの(ブロックと共に、身も削る)」ですので、本テキストでは扱いません。

2.2. ブロックの存在理由

多くの方が、ブロックに対して「厄介なもの」「外したいもの」と思っているようですが、その一方で、

- 『ブロックは、自分を守るための道具』
- 『ブロックは、ハイヤーセルフ（高次の自己）にとっての遊び道具』
- 『ブロックは、高次の存在が、地球に降り立つためのツール』

という側面もあります。

そのため、ワークに取り組む際には、

『ブロックは、敵ではなく、味方である』

という前提で取り組むことが大事です。

ここでは、この「3つの側面」について掘り下げてみたいと思います。

- ブロックは、自分を守るための道具

この物質世界は、ブロックが一切存在しなかったとしたら、非常に生きづらいところです。

例えば、恐怖心が全く無かったとしたら、

「線路に飛び込んで、電車と力比べをしてみたい！」

「飛べると信じれば、ガケから飛んでも大丈夫！」

といったように、命に関わるようなことを平気でやりかねません。

恐怖や不安とは、ある意味、「生命を維持するための慎重さの延長」とも言えるわけですし、トラウマに関しても、同様に、「拒絶の反応を引き起こすことで、その状況の再現を出来る限り阻止しようという働き」です。

このように、**ブロックは、『自分を守るための道具』**としての側面を持っています。

とはいえ、

「昔は当てはまったけど、現代ではその心配はほとんど無いような、時代にそぐわない信念」

「本人の成長により、すでに役目を終えたトラウマ」

というものもあるものです。

なので、そうしたものに限っては、「今まで守ってくれてありがとう！」という感謝の気持ちのもとに、外してしまっても構いません。

- ブロックは、ハイヤーセルフ（高次の自己）にとっての遊び道具

人間にとっては、「お金や人間関係で苦勞する」というのは、「単なる苦痛でしか無い」と捉えられがちです。

しかし、皆さんのハイヤーセルフ（高次の自己・真我）が住んでいる世界から見ると、それらは

『刺激的で魅力的な体験』

『手放したくない体験』

と映るようです。

その証拠に、ブロック解除ワークを開催していると、ブロックが外れる直前になって「ちょっと待って！外すのもったいない！」と言い出す人が結構いたりします。

ですから、ブロック解除に取り組む際には、まず、いったんブロックの存在を受け入れて、

「お金の問題で遊ぶのは、確かに面白い！

一生これで遊んでいたいくらいだけど、他にも面白そうな遊びを見つけたから、次に移ろう！」

という姿勢で向き合うと、ハイヤーセルフ的に OK が出やすく、スムーズに変化していくことができます。

- ブロックは、高次の存在が、地球に降り立つためのツール

ブロックを抱えることになったスピリチュアル的な背景として、

ずっと昔、人間のハイヤーセルフは、『地球』という惑星に遊びに行こうと思い立った。

しかし、当時の地球の波動レベルが低すぎて、自分の波動を下げないと、地球に降りることが出来なかった。

色々研究したところ、『無価値観』や『罪悪感』を埋め込むことで、波動レベルを下げる事が出来ると分かったため、ハイヤーセルフは、そこから派生した様々な『ブロック』を自分に埋め込んで、自分と地球の波動を合わせ、無事、地球に遊びに来ることができた。

という経緯があります。

これは、

「気球が、無計画にどこまでも飛んでいかないよう、高度を調整するためにつける『重り』」

をイメージしていただくと分かりやすいかと思います。

最近では、地球自体の波動もかなり上がってきているので、

「昔は大量のブロックが必要だったけれど、今はもうそれほど不要」

になってきています。

必要以上に抱えている『重り』に対しても、「今まで手伝ってくれてありがとう！」という感謝の気持ちと共に、外してしまっても構いません。

2.3. ブロックの性質について

先に述べた理由により、**ブロックは、本来、「簡単に外れては困るもの」**です。

なので、『潜在意識（無意識）』の領域には、

- 『ブロックは、気づき難く、外し難い（ステルス機能）』
- 『ブロックは、外されようとする、反発する（自己防衛機能）』
- 『ブロックは、1つ外れても、予備がたくさんある（物量作戦）』

という、『**ブロックの防御機能**』が組み込まれています。

他にも、

- 「このブロックさえ無ければ！何としても外してやる！」という気持ちで向き合っているうちは、
ブロックが外れないような『**仕組み**』

が、存在したりもします。

これらの『**ブロックの防御機能**』と『**ブロックを外れ難くするための仕組み**』により、

「ブロックに対して、自分ではそれを持っていることになかなか気付けない」
「自分にブロックがあるなんて、考えたこともないし、これからも考えない」
「同じブロックを抱えている人ばかりで固まって、他に目を向けようとしない」
「指摘されても、自己正当化して、自分に非があることを認めない」
「ブロックに気づいて変わろうとすると、変化の直前に、突然不安が襲ってくる」
「いくら外しても次のブロックが出てくるので、『まるでブロックが外れていないかのような錯覚』に陥る」

ということが往々にして起こります。

また、同じ理由により、

『**自分のブロックを揺さぶったり、ブロックを外そうとしてくる人に対して、強烈な怒りが湧いてくる**』

ということもしばしばです。

パートナーシップや、ビジネスの現場では、しばしば、

「最初はニコニコしていたパートナーが、ある日を境に豹変し、最後は暴言を吐いて去っていく」

ということが起こりますが、その背景にも、この『**ブロックの影響**』があることが多く、特に、

「一方が、もう一方を置いてきぼりにするほど急激に成長した場合」
「片方が成長を拒んだりした場合」

などに、**成長が遅れている方（ブロックが発動する方）**が、もうひとりの人を攻撃するのです。

もし、今後、ワークに取り組んでいく中で、

「抵抗感や不安、怒り、恐怖が湧いてきた」

という時には、

これらの『ブロックの防御機能』のことを思い出して、

「今まさに、自分はブロックと向き合っているんだ。

外そうとすると抵抗感があるのが当たり前なんだ。

でも自分は、本当に変わって行きたいから、ちょっとだけ勇気を出して、ガンバろう！」

という姿勢で取り組んでみてください！

(コラム) 関係が深まるほど、同時に、相手を嫌いになっていく心理

スピリチュアルな歴史経緯上、多くの方が、自分の内面に、

『無価値観』

『罪悪感』

を抱えています。

ですから、

「自分のことが嫌い！ 自分なんて価値が無い！ 自分のことが許せない」と思っている人が世の中の大半です。

当たり前ですが、新しい人間関係では、相手は、最初は『他人』です。

なので、多少の気に入らない点があっても、「他人だから」で許せてしまいます。

しかし、関係性が深まるにつれて、その『他人』を、次第に、『自分と同一視』するようになってきます。

すると、だんだんその人のことを、

「嫌いな自分と同一視」

「許せない自分と同一視」

「価値がない自分と同一視」

するようになっていくのです。

ですから、**相手と深い関係になりたければ、まずは「自分自身を好きでいられるようになること」が大事。**

自分で自分を愛せるようになれば、関係性が深まっても、「愛する自分と同一視」するわけですから、良好な関係を保っていられます^^

2.4. ブロックを外す必要性

「ブロックにも存在価値があるんだったら、別に抱えたままでもいいんじゃないの？」

「無理にブロック解除ワークに取り組まなくてもいいんじゃない？」

という意見もあるかと思います。

その通りです。

現状に満足しているのであれば（←ここ重要！）、無理にブロック解除ワークに取り組む必要はありません。

ですが、もし、

「現状に関して不満がある！」

「人生をより良くしたい！」

「自信の無い自分から脱却したい！」

というのであれば、併せて、『自分の中の何か』も、変える必要があるでしょう。

トラブルや制限を引き起こしている原因のほとんどは、ブロックによるものです。

例えば、

「あれをしてはいけない、これをしてはいけない、それをするなんてとんでもない」といった『制約』

「チャンスが来ると緊張して動けなくなる」といった、豊かさへの『抵抗』

「試験の前には必ずお腹が痛くなる」といった『不都合』

などは、

- 人間関係のブロック
- 仕事のブロック
- お金のブロック
- 無価値観のブロック
- 罪悪感のブロック

といったものと結びついていることが多いものです。

ですから、

「ビジネスで成果を出したい！」

「素敵なパートナーが欲しい！」

「自己実現をしたい！」

「心豊かに暮らしたい！」

「人間関係を円滑にしたい」

という場合などには、往々にして、**ブロック解除ワークに取り組むことが必要**になるのです。

さらに、別の観点からお話すると、

「ブロックは、その人の潜在意識によって、創られ、維持されているもの」

「ブロックを単に抱えているだけでも、見えないところで、エネルギーの浪費が起こっているもの」

です。

これは、「使わない荷物が部屋を圧迫しているような状態」をイメージしていただくと分かりやすいでしょう。

ブロックをたくさん抱えていればいるほど

『原因不明の無気力』

『慢性的なエネルギー不足』

に陥りやすいものです。

ですから、

「ブロックを外すと、人生全体の、他の部分に使えるエネルギーが大きくなる」

のです。

その他にも、『ブロックがたくさんある人』は、

「何をするにしても不自由そうな感じ」

「見るからに重い（色々と背負っている）」

「何かにつけて怒ったり、不満を述べたりする」

「自分で物事を複雑にしまう」

という傾向があります。

一方で、ブロックが少なくなればなるほど、

「自由」

「シンプル」

「エネルギーに溢れている」

といった感じになっていきます。

ただ、繰り返しますが、**ブロックを抱えていること自体は、悪いことでも何でもありません。**

要は、

「ポジティブな人生とネガティブな人生、どちらも選べますけど、あなたはどちらが良いですか？」

という、『選択の問題』です。

2.5. 好転反応について

ブロック解除を行うと、その前後で、熱を出したり、体調不良になったり、不安が湧いてくることがあります。

この原因としては、

- それまで滞っていたエネルギーが流れるようになったことで、一時的にバランスを崩した
- 押さえ込んでいた毒を一気に吐き出している
- 潜在意識の恒常性維持機能（ホメオスタシス）が働いている

などなど。

たいていは、**症状が改善する前の一時的な反応で、多くの人が経験していること**です。

ですから、

「ブロック解除ワークによって好転反応が起こるかもしれない！」

と理解した上で、ワークを行う分には問題ありません。

ただ、大事な試験や打ち合せの直前に、強力なブロック解除を行うのは避けた方が良いでしょう。

なお、この『好転反応』、大きく分けて、

- 「身体に出る反応」
- 「精神に出る反応」
- 「人生に出る反応」

の、3つがあります。

『**身体**』には、例えば「発熱」や「蕁麻疹」、「身体の痛み」という形で出ることがあります。これは、ほとんどが一過性で、数時間～数日で収まります。

『**精神**』には、「眠気」や「だるさ」、「やる気が出ない」といった形で出たりします。こちらは落ち着くまでに、数日～時には数ヶ月かかることもあります。

『**人生**』には、例えば「突然のリストラ」や、「生活環境の変化」という形で出たりします。しばらくして元通りになることもあれば、あるいはそのまま人生そのものが変化することもあります。

どの場合でも、**無理に症状を押さえ込もうとせずに、出るままに任せてしまうのが一番**です。出し切ってしまうえば、スッキリして、身軽になることができます。

少しでも早く好転反応から脱するには、

- 「水を大量に飲む」
- 「眠くなったらとにかく寝る」

というのが効果的です。

身体の中の水を入れ替えることによって、エネルギーの代謝が良くなり、様々なものをスムーズに流していくことが出来ます。

この際には、お茶やコーヒー、紅茶やジュースではなく、**純粋な『水』を飲むことが必要**です。

可能であれば、水道水よりも、

『出来るだけ波動の高い水』を飲むのが望ましい

です。

エネルギーワークをされている方は、「水に対してヒーリング」をした上で飲むようにすると良いでしょう。

また、後述の『エネルギーカード』を使っても、水を浄化したり、エネルギーを入れることが出来ます。

あと、『睡眠』を取ると、寝ている間に潜在意識が組み替わり、深いところが整理されていきます。

ブロック解除を進めていくと、

『異常に眠くなる時期』

が出てきたりすることもあります。そういったときに、**罪悪感を抱かずに寝てしまうこと**は大事です。

この時期を穏やかにやり過ごすためには、

「ガイド（高次元のサポート役）にお願いして、『睡眠時間』と『寝ている間の収入』を確保してもらう」

というのをオススメします。

『願望リスト』を紙に書き出し、その中に、この2つを書き込んでおきましょう。

もし、『寝ることに対するブロック』や『働かずにお金が入ることに対するブロック』がある場合は、それらも早めに外しておくといいですね。

なお、ブロック解除による好転反応を抑えるには、後述の『プロテクションカード』も有効です。

2.6. ブロックの構造と仕組み

ブロックは『層構造』になっており、1つのテーマについて、幾重にもブロックを重ねています、

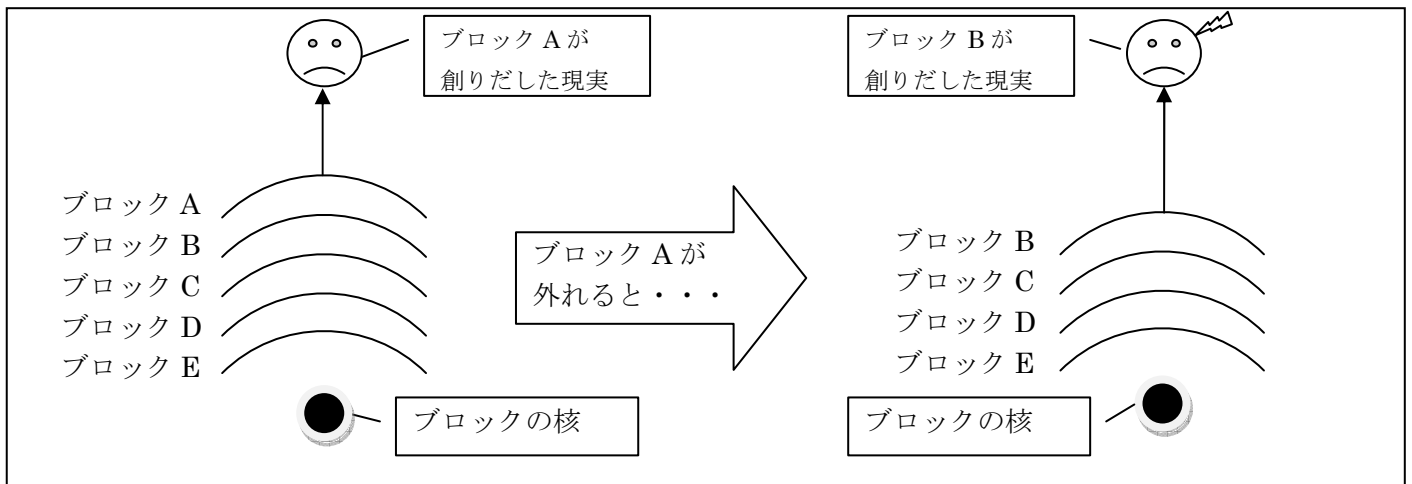
そして、『奥にある根深いブロック (=ブロックの核)』を覆い隠すように、無数の『影武者』『身代わり』『ダミー』が存在し、これらは協力して「似たような現実」を創り出します。

例えば、『ブロックの核』を覆うようにして、『ブロック A』～『ブロック E』まで、5つのブロックがあったとして、『ブロック A』を外すと、一応、「スッキリした感じ」がします。

なので、

「よーし、これで人生が変わるぞ！ ブロック解除ワークって凄いなあ」

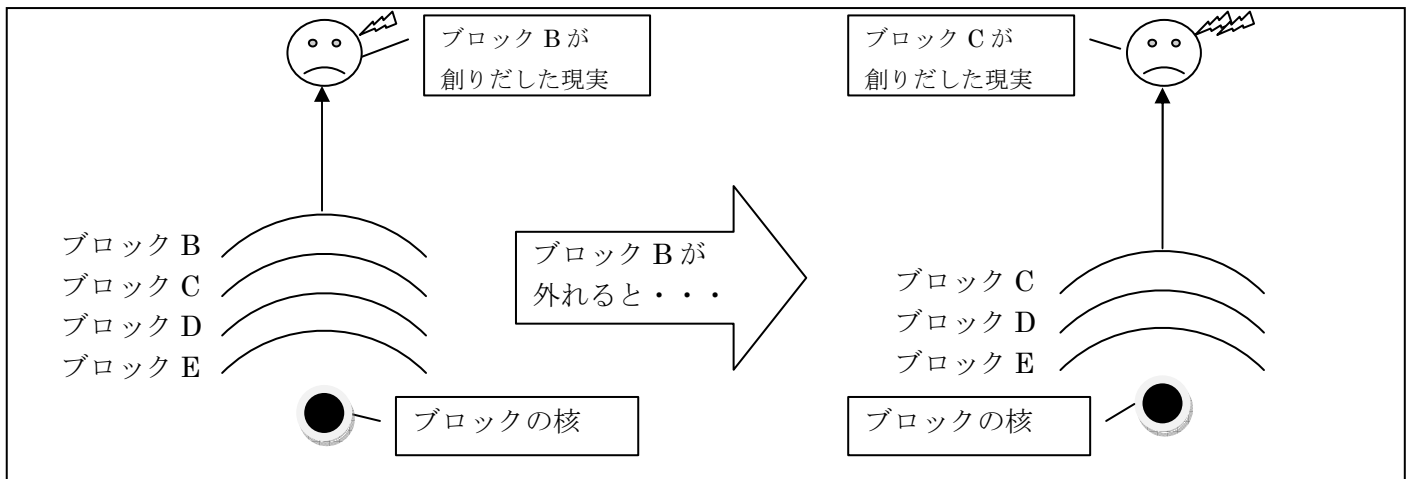
などと思って油断していると、そのうち、『ブロック B』が、「似たような現実」を創ってしまいます。



そこで、

「あれ？外れていなかったのかな。 もう一度ブロック解除ワークをやってみよう！」

と、『ブロック B』を外すと、今度は『ブロック C』が、「似たような現実」を創ります。



魔法の☆ブロック解除ワーク

ここで創られるのは、あくまでも「似たような現実」であって、もともとの現実とは少しだけ違います。

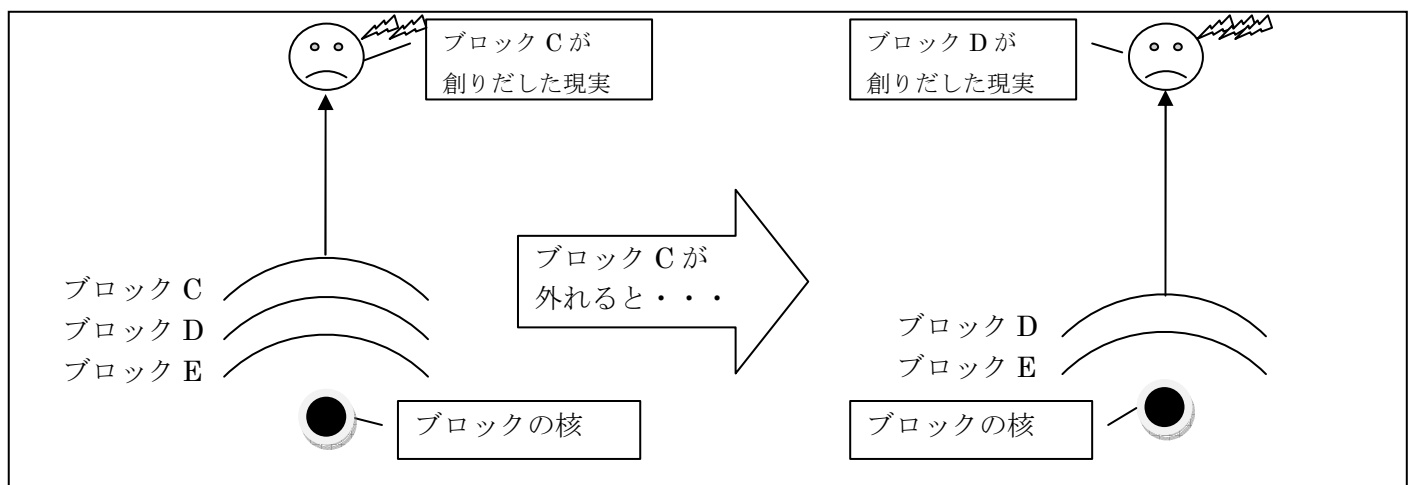
ですが、こうなると、たいていの人は、

「おかしい！ もしかしてこのブロック解除ワークは偽物なのかもしれない！
あるいは自分にはブロック解除の才能が無いのかもしれない！」

などと思い始めます。

「だけど、もう1度！
もう1度だけ、信じて取り組んでみよう！」

と頑張って、『ブロック C』を外すと・・・



・・・またまた、今度は『ブロック D』が「似たような現実」を創るわけです。

こうして、多くの人が、

「あ～あ、自分にはブロック解除なんて出来ないや」

などと言って、ブロック解除ワークに取り組むのを諦めてしまいます。

すると、『ブロックの核』には手つかずのままになり、ブロックの側としては、無事に、本体を無傷のまま守り切ることが出来るわけです。

実際のところは、**外せば外した分だけ人生は変わっていく**のですが、この仕組みを知らないと、

『ブロックを外しても外しても、外れていないような錯覚』

に陥って、ブロック解除を止めてしまいます。

これがまさに、『ブロックの防御機能』の手口なのです。

2.7. 矛盾によるロック

他にも、ブロックが簡単に外されないための『仕掛け』として、

『複数のブロックを組み合わせた、矛盾によるロック』

が組み込まれていることがあります。

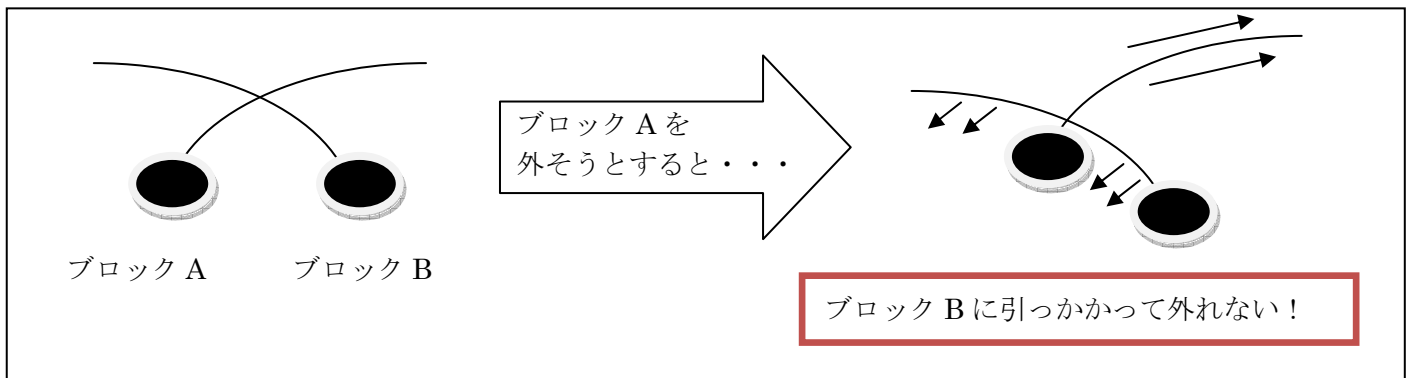
これは、

「ブロック A を外すためには、まず、ブロック B を外す必要がある」

「しかし、ブロック B を外すためには、先に、ブロック A を外す必要がある」

という構成のこと。

ここで、無理に一方を引っ張ろうとすると、絡まった糸を引っ張るようにして、もう一方が締め付けてきます。



具体例を挙げてみましょう。

例えば、

- 「『親に認められるためには、お金持ちにならなければならない』という信念がある (ブロック A)」
- 「親から『お金は汚いものだ』と教えられたので、
『お金持ちになることは親を裏切ることになる』という信念がある (ブロック B)」

と、このような場合、

「『お金持ちにならなければならない』と『お金持ちになってはいけない』という、相反した状態」

になってしまい、そのことについて考えようとする、頭に霧がかかったようになって、思考停止してしまうのです。

ですから、こうしたブロックを解除する際には、

「関連するブロックを同時に外すようにする (親に関するブロックと、お金のブロック、両方を同時に外す)」

というアプローチが必要になります。



小休止なのです・・・。

3. 顕在意識と潜在意識

3.1. 顕在意識と潜在意識の基礎知識

顕在意識とは

『明確に把握できる意識』

のこと。

潜在意識とは、

『顕在意識以外のすべての意識』

『無意識の領域』

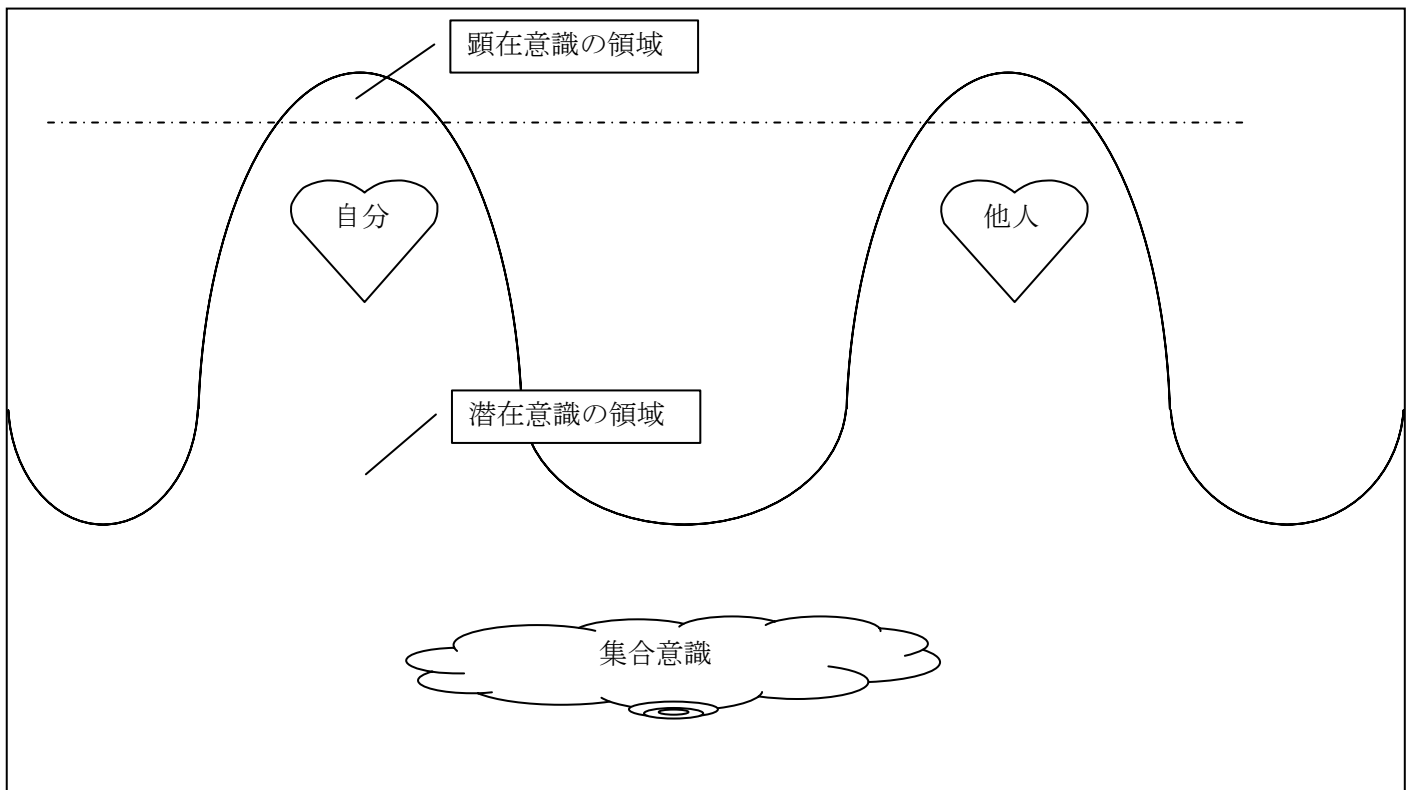
のことです。

『ブロック』というのは、『潜在意識』で管理されているものですから、ブロックを効率よく外そうと思ったら、ある程度は潜在意識のことについても知っておく必要があります。

3.2. 顕在意識と潜在意識の構造

顕在意識は、よく、『氷山の一角』に例えられます。

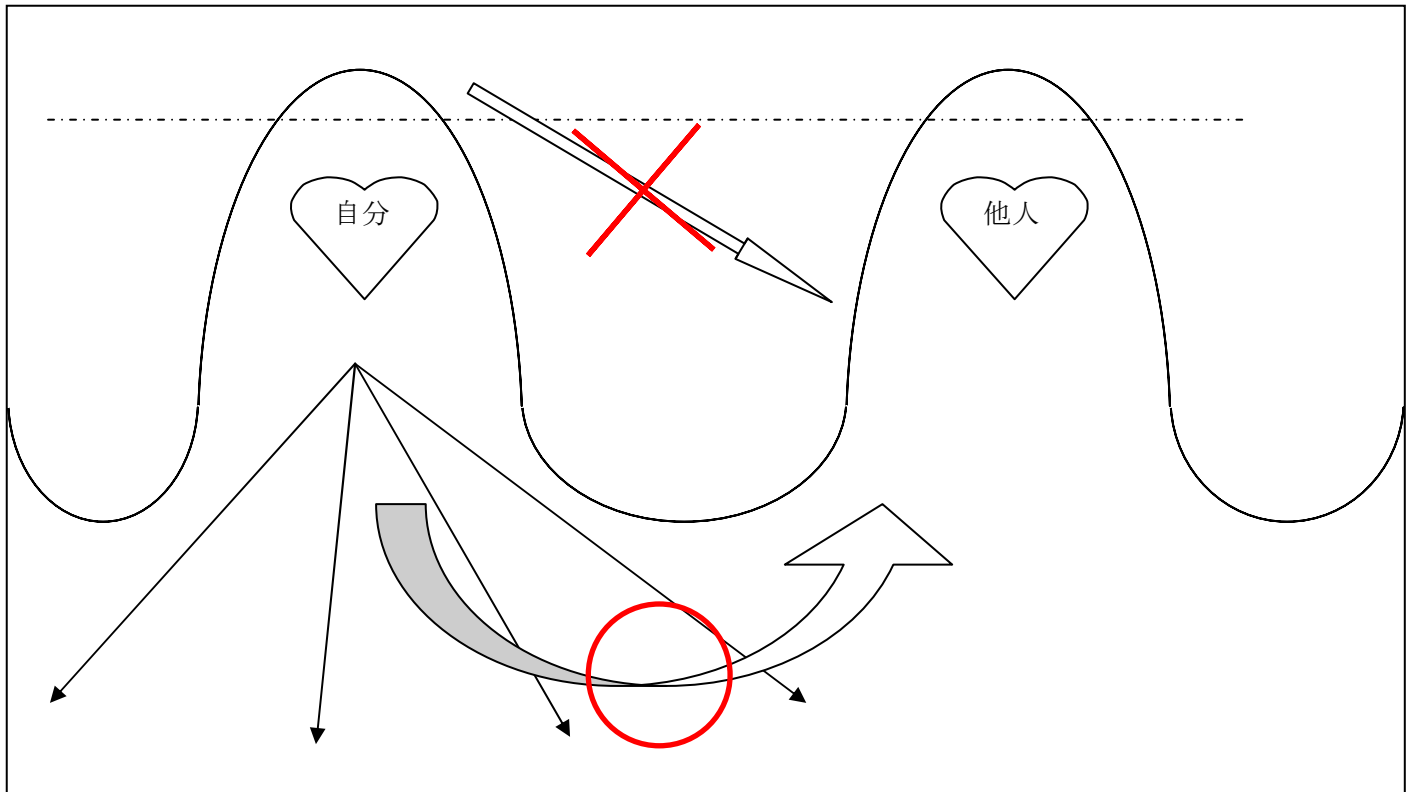
普段、人間が意識しているのは、「自分の中のごく一部」で、その水面下には、膨大な意識容量が存在します。そして、**意識の深いところでは、他の人間と繋がっている**と言われてています。



3.3. 潜在意識下での干渉

他人に対して、「ああしろ！こうしろ！」と言っても、なかなか人は変わりません。
仕組み上、自分の顕在意識から、相手の潜在意識に直接干渉することは出来ないのです。

ですが、自分の潜在意識を通して、相手の潜在意識に干渉することは出来ます。



だからこそ、

「ブロック解除ワークを通して自分をクリアにしていくと、なぜか、家族や友人の人生も上向いてくる」

ということが現実に起こるのであり、
さらにこの仕組みを使いこなせば、

「潜在意識を通して、相手の感情を癒すことが出来る」

「潜在意識を通して、相手のブロックを解除できる」

などということまで可能になるわけです。

しかし、この『潜在意識下での干渉』は、逆方向にも作用しますので、

「他人がネガティブな感情を抱え込むと、自分にまでネガティブな影響がやってくる」

「世の中で事件が起こると、その影響が、潜在意識下で自分にまで波及してくる」

ということにもなります。

だから、物質世界に生きる以上、日々のブロック解除（継続的な自己メンテナンス）は欠かせないのです。

3.4. ブロックを守るための、潜在意識の手口

ブロック解除ワークを開催すると、

「ブロックをどうやって外したら良いのか分からない」
「なかなか外れない」

という話をよく聞きますが、
実は、**ブロックを外すこと自体はカンタン**です。

手順としても、

「外したいブロックを特定」し、
「ブロックを外すという意図を設定」し、
「それを表現するような行動を取る」

だけで、
極端な話、**軽いブロック**であれば、

『「この水を飲むことで、〇〇というブロックを外します」と宣言し、実際に水を飲むだけで、外れてしまう』
のです。

とはいえ、『**ブロックの防御機能**』は、

『こんな簡単にブロックが外れるなんて有り得ない！という信念（＝ブロック解除に関するブロック）』
『外れていないと錯覚させる』
『慢心させたり、油断させる』
『不安がらせる』
『無力感を浮き上がらせる』

の他、ありとあらゆる手段を用いて、**非常に巧妙に、ブロックの核を守っています**。

そして、**様々な手口によって、ブロックから気を逸らさせたり、ブロック解除自体を諦めさせようとしてきます**。

ですから、

ブロック解除を行うにあたっては、『潜在意識の防御機能を突破するための、知識と技術』を学ぶことが重要
です。

正しい知識を持っていれば、いざ、不安や恐怖が湧いてきたり、ワークから離れそうになったときに、

「あっ！ これは『**ブロックの防御機能**』の仕業か！」

と、気づくことができますからね！

ちなみに、『ブロックの防御機能』のとおきの手口として、
潜在意識は、

『ブロック解除ワークの最中に、優先度の高い仕事を割りこませる』

『ブロック解除ワークの最中に、第三者（特に、親）から電話をかけさせる』

ということすらやってのけます。

（人間同士は、潜在意識の深い所で繋がっているので、こんなことまで出来てしまうのです！）

実際、ブロック解除ワークを開催している時にも何度か起こっているのですが、

『あと一步でブロックが外れる！』というところになっての、突然の電話による中断』

ということがあります。

そして、

「さっきの電話、母親からの、これこれこんな内容だったんですよ～」

とシェアしているうちに、本人も無意識のうちに、ワークをうやむやにしようとするのです。

不思議なことに、皆さん示し合わせたかのように、

「後で折り返せば良いだけの話なのに、なぜかみんなワークを中断してまで電話に出る」

「なぜか、父親ではなく、母親が電話をかけてくる」

というのは、興味深いところです。

4. ツールを用いないブロック解除ワークの実践

本章では、身一つで出来るブロック解除ワークとして、

- 【炎の浄化ワーク】
- 【物質変換ワーク】
- 【自動掃除ロボット】

を、紹介します。

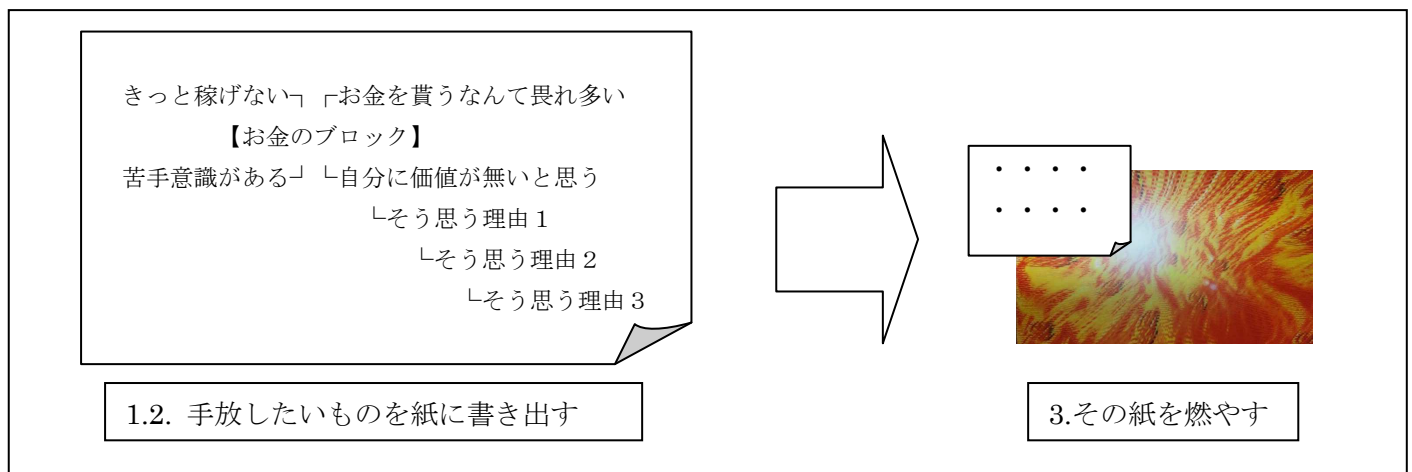
4.1. 【炎の浄化ワーク】によるブロック解除

古来より、『炎』というのは、さまざまな儀式に用いられてきました。
実際、**炎というのは、極めて強い浄化力を持っています。**

これから紹介する【炎の浄化ワーク】は、そんな『炎の浄化力』を、ブロック解除に応用したものです。

● 【炎の浄化ワーク】の流れ

1. 紙の中央に、「手放したいブロック (=今回のワークのタイトル)」を書く
2. タイトルの周囲に、「手放したいブロックから連想される事柄」を書き加える
3. 紙に火を付けて、燃やす (イメージの中で燃やしたり、後述の『ブロック解除カード』に載せるだけでも可)



『本物の炎』を使うには何かとハードルが高いこともありますが、『イメージの炎』でも十分効果があります。

ただ、できれば一度、

「『本物の炎』が、物凄い勢いで燃え広がっていく様子」
「その時の熱さやチリチリする皮膚感覚」

などを体感しておく、よりイメージがしやすくなるでしょう。

魔法の☆ブロック解除ワーク

この【炎の浄化ワーク】は、

「炎の浄化力を活用できる」

というだけに留まらず、

「狙って書き出したもの以外の、周辺にあるブロックまで同時に燃える」

「一回のブロック解除ワークで、とてつもなく多くのブロックを一気に解放できる」

といった特徴があります。

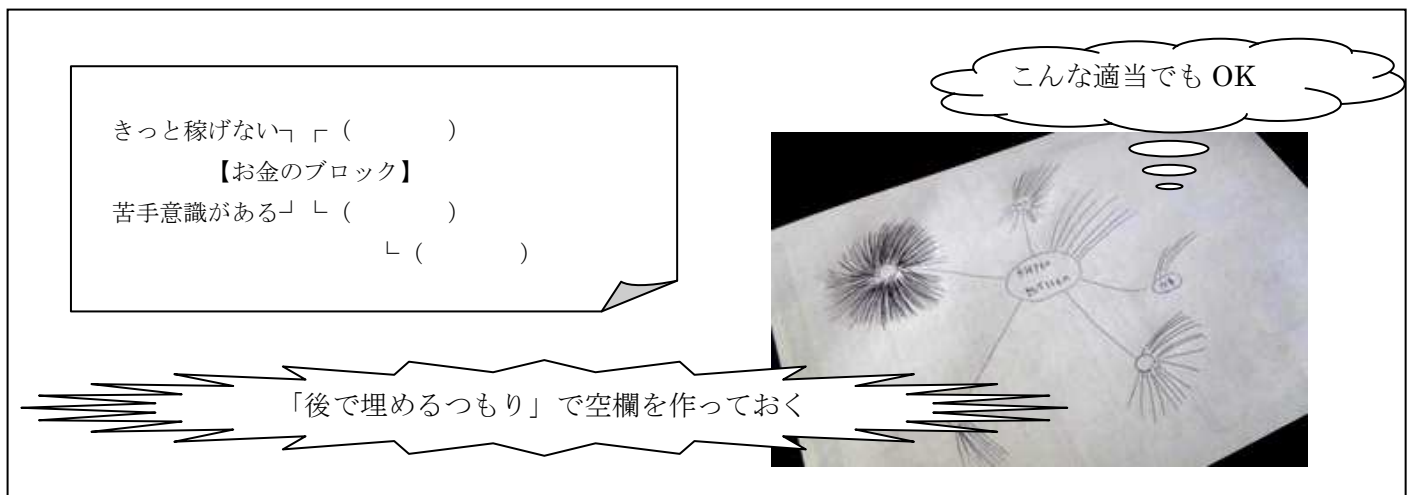
さらに、必ずしも、個々のブロックの要因を特定しなくても、以下のように

「分からないところを**後で埋めるつもりで**（←ここ重要）空欄にして、線だけ引っ張って書き出す」

とすると、

『潜在意識に、解放する対象のブロックを探させることができる』

のです。



エネルギー的な面から見ると、一度、イメージの中で火を付けたら、潜在意識の中では、数時間（4～12時間程度）は燃え続けるようです。

十分燃えきった後で、【物質変換ワーク】【自動掃除ロボット】を活用し、燃えカスをクリアにすると、さらに効率よくブロック解除できます。

なお、注意点としては、

「ワーク後、しばらくは水を飲まないようにすることが必要」（ワークの直前に飲むのはOK）

です。

逆に、「これは燃えすぎてヤバイかも!？」と思ったら、水を飲んで消火するというのも手です。

4.2. 【物質変換ワーク】によるブロック解除

これから紹介する【物質変換ワーク】は、

『潜在意識の仕組み』

『エネルギーワーク』

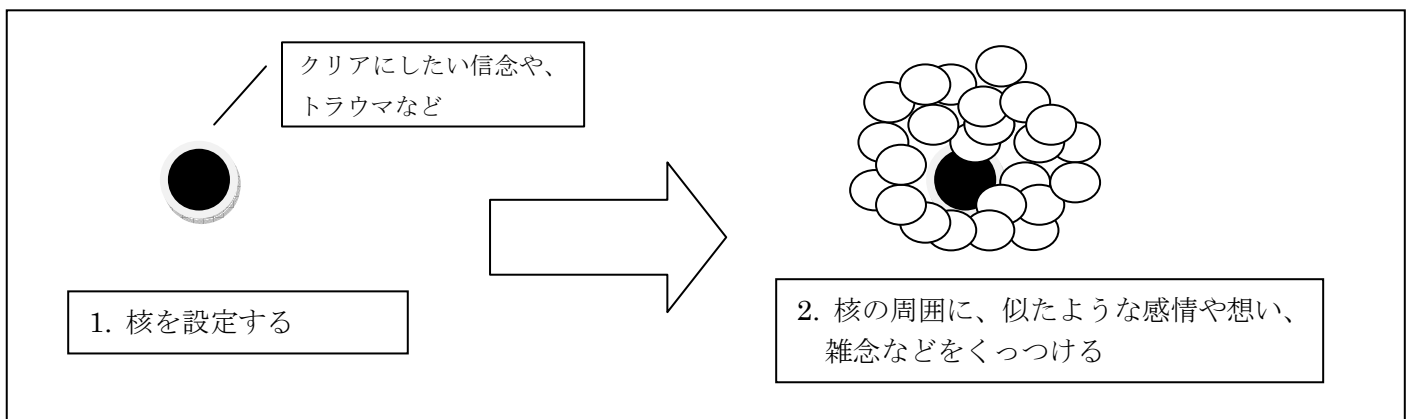
の、両面からアプローチを行う、

『強力なイメージワーク』

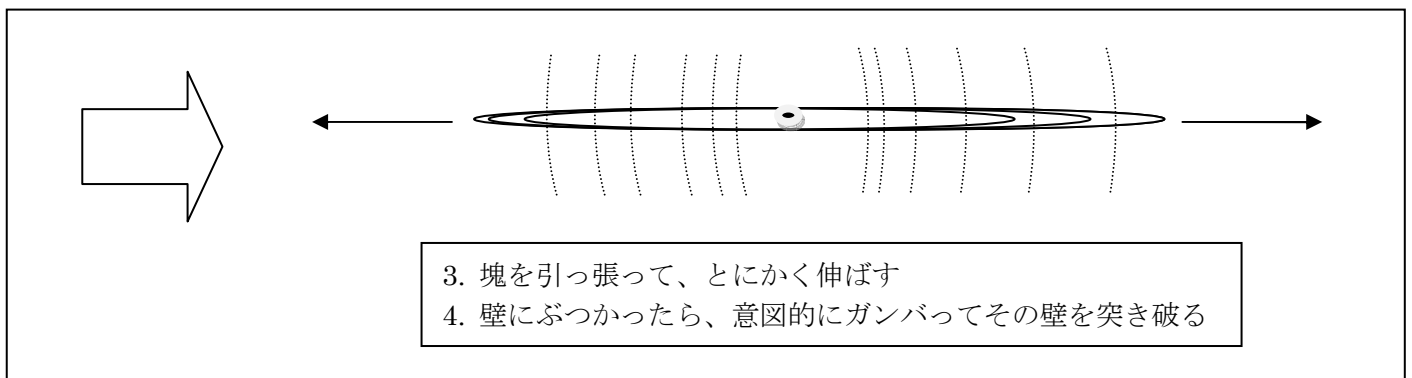
です。

● 【物質変換ワーク】の流れ

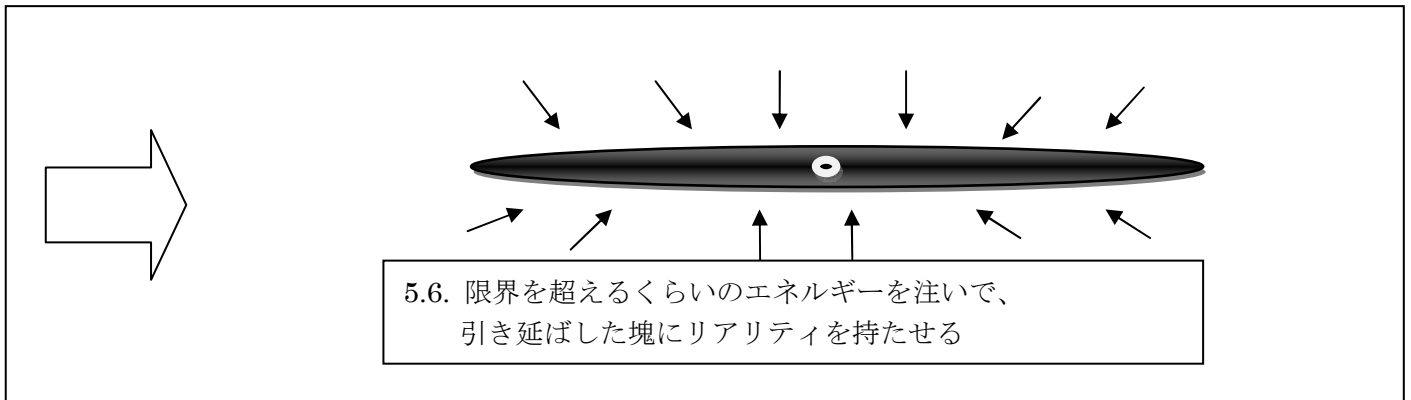
1. ブロックの『核』となるものを設定する
(この際、出来るだけ根深いものを『核』として設定できると効率的)
2. 粘土遊びの要領で、『核』の周りに様々なブロックや雑念をくっつけて、両手で抱えきれないくらいのおおきさまで膨らませるイメージ」をする



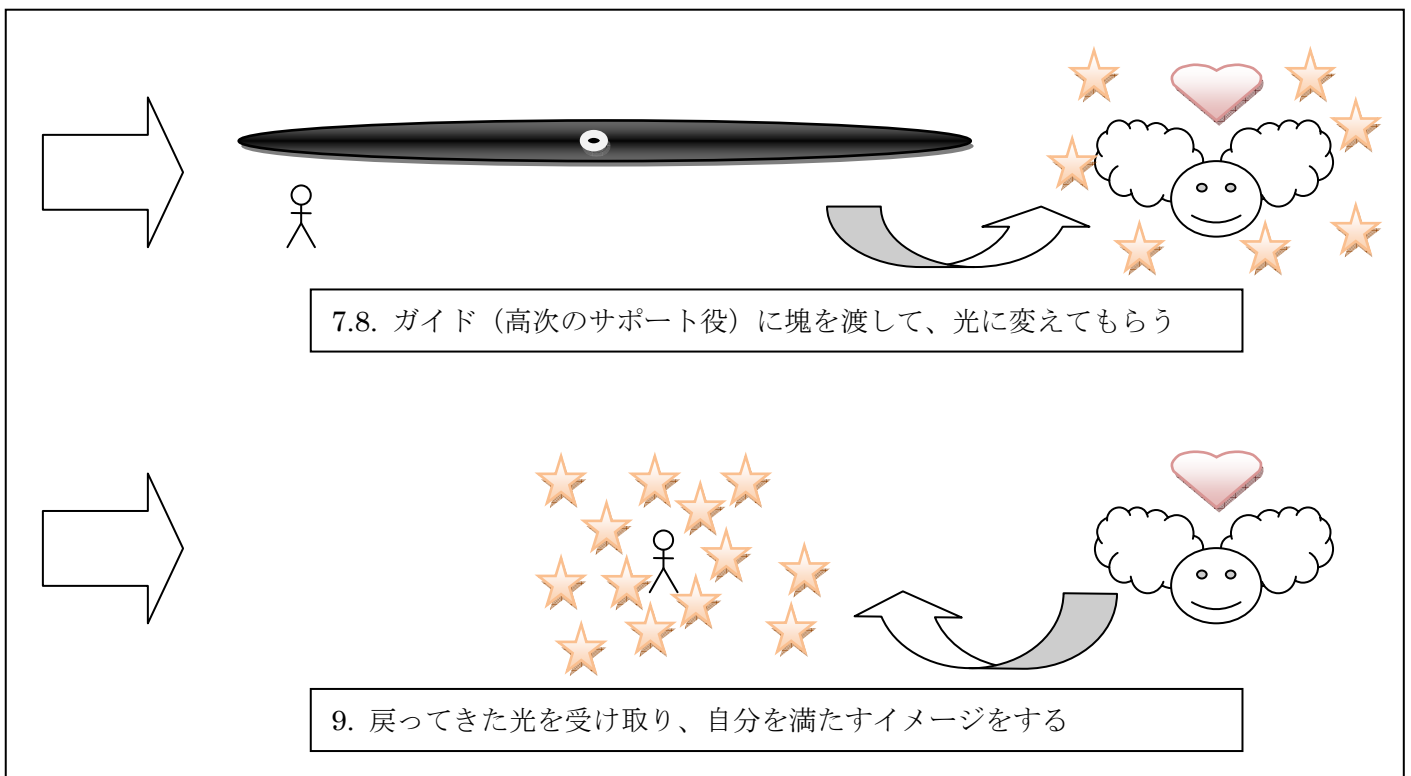
3. 大きな塊が出来たら、「アメ細工のように、その両端を引っ張って引き伸ばすイメージ」をする
4. 巨大化させるのに限界を感じたら、その『限界の壁』を突き破るように、意図的にガンバって広げてみる
(最低限、壁を3枚以上、多いときには10枚以上突き破る)



- 完全に壁を抜けたら、今度は、ブロックの塊（かたまり）に、『大きさ』『重さ』『質感』『密度』『色』などを設定し、エネルギーを注ぎ込みつつリアリティを持たせる
- 「これ以上リアルに出来ない！エネルギーを注げない！」という限界を感じたら、その限界の壁を突き破るように、意図的にエネルギーを注ぎ込む



- 十分過ぎるほどエネルギーを注ぎ込んだら、「そのブロックの塊を、ガイドに手渡すイメージ」をする
- ガイドに対して、ブロックの塊を、光に変換してもらうよう依頼する
- 「ブロックの塊が、光に変換されて、自分に戻ってくるというイメージ」をする



・・・以上、9ステップです。

● 【物質変換ワーク】の背景・理論

この【物質変換ワーク】での最大のポイントは、

「イメージの中で、とにかく巨大な塊を創る」

「これ以上やったら苦しい！自分が壊れてしまうかも！という地点から、さらに限界を超えて頑張る」

というところ。

そもそも、

『ブロック』というのは、潜在意識が、意識の領域の一部分を使って創り出しているもの」

です。

そして、意外に思われる方も多いかもかもしれませんが、実は、

「人間の潜在意識の容量は有限」

「潜在意識の処理能力は有限」

です。

今回のワークで行ったように、『巨大なイメージ』『リアルなイメージ』を創ろうとして、ある分野に過剰なエネルギーを注ぐと、

「意識容量の空気が枯渇」

します。

そうすると、潜在意識は、

「使っていない部分や、優先度の低い部分を解放し、エネルギーを確保するように動作する」

のです。

つまり、このワークでは、潜在意識的に、

『イメージの固まり』を創る過程で、『ブロックを維持するためのエネルギー』が枯渇する」

「それを補うために、すでにあるブロックが引っ剥がされる」

いうことが起こっています。

ですから、

「巨大なイメージを創ろうとすればするほど、大量のブロックが維持できなくなり、外れていく」

「出来るだけ限界を超えて、無理やり巨大なイメージの固まりを創ると効率的」

なのです。

(コラム) 高次の存在は万能ではない

これまでも何度か出てきましたが、『ガイド』というのは、『肉体を持たない、高次元のサポート役』のこと。

『守護霊』が「守る役割の存在」だとしたら、『ガイド』は「導く役割の存在」です。

(このあたりの詳細について知りたい方は、サイトまたはチャネリングコースで (http://ms.elty.net/ms_ch/))

さて、これまた意外に思われることが多いのですが、**高次の存在は、人間が思うほど万能ではありません。**

これは、『ガイド』に限らず、『ハイヤーセルフ』も、『守護霊』も、『天使』も、俗にいう『神様』たちも、決して万能ではなく、「意外と出来ないことがたくさんある」のです。

例えば、以前、ブロック解除のワークショップを開催し、【物質変換ワーク】を行なってもらった時、参加者さんのガイドの中に、『エネルギーワークに不慣れなガイド』がいたことがあって、

- 「ガイドにブロックの塊を渡す」
- 「その塊を光に変換してもらおう」

というステップで、
ガイドの側が、

「えっ！？ どうやって光に変換したらいいの！？」

と戸惑ったケースがありました。

ですから、その対応として、このドキュメントには、エネルギー的に、『ガイドさん向けの情報』を組み込んであります。

なので、これを読まれた方のガイドさんは、光に変換する作業もしっかり手伝ってくれることでしょう。

ただし、もし「自分でブロック解除のワークショップを開催・主催する」といった場合などで、このワークのやり方を口頭のみで説明する際には、

「相手のガイドも含めて付いて来られているか」

というのにも注意しておいてください！

場合によっては、自分のガイドやハイヤーセルフに対して、

「相手のガイドにやり方を伝えて！」

と依頼するなどして、対応することが必要になるかもしれません。

自分一人でワークに取り組む際には関係ない話ですが、一応、頭の片隅にでも入れておいて頂ければと思います。

(コラム) ブロック解除のスタート地点

【物質変換ワーク】で、『限界を超えたところでのブロック解除』を行っていただきましたが、いかがでしょうか。

気分はスッキリされていますか？

もし、「まだスッキリしない」というのであれば、再度、イメージワークを行ってくださいね。

「ワークを終えたらスッキリした」という方、おめでとうございます！

ここがようやく、『**ブロック解除の本当のスタート地点**』です！

部屋の掃除でもそうですが、手前のものを片付けないと、奥のものは片付けることが出来ません。

床に散乱した粗大ゴミを片付けて、一通りの片付けが済んでから、ようやく、クローゼットの奥にしまい込んだものの整理が始められるのです。

そして、クローゼットが片付いたら、そこで初めてその中にある小箱を取り出すことが出来、さらにその奥には・・・というのと同じような形で、ブロック解除は深まっていきます。

とはいえ、紛らわしいことに、このスタート地点に辿り着いただけでも、ある程度はスッキリした感じがしますし、表面的なブロックであっても、外した分だけ現実が動いていきます。

なので、**多くの人**が、この『**ブロック解除の準備が出来た時点**』で「**ブロックが全て外れたと勘違い**」して、ブロック解除を止めてしまいます。

でもそれは、「ブロックの側まで駆け寄って、表面の薄皮を一枚剥がして、満足して帰っていく」ようなもの。

ホントは、

「このスッキリした時点から、さらに取り組んだ分が、本当の意味でのブロック解除になる」

のです！

ちなみに、『**ブロックの核**』が完全に外れると、

「イメージの中で、ブロックの塊を創ろうとしても、何も集まらない（無の感じがする）」

「同じ出来事に向き合っても、心がざわついたり、身体が硬直したりしない」

という感じに変化します。

その状態を目指して、ガンバって&楽しんで行きましょう^^

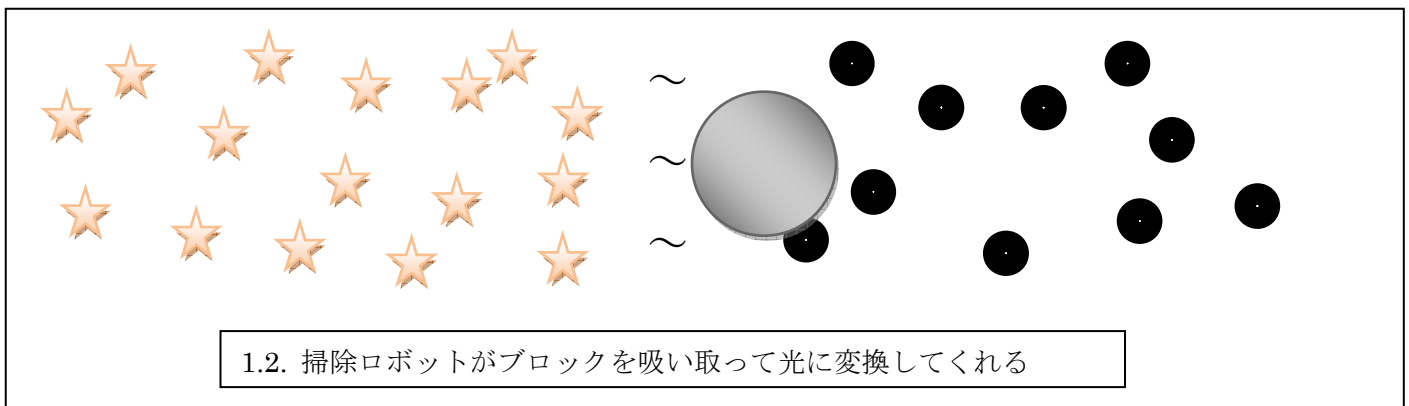
4.3. 【自動掃除ロボット】によるブロック解除

商品名は伏せますが、最近、家電量販店に、丸っこい【自動掃除ロボット】が置いてありますよね。

あれに興味を示した A-Ki のガイドが、【自動掃除ロボットによるブロック解除】なるものを伝授してくれました。

● 【自動掃除ロボット】によるブロック解除の流れ

1. 「ブロックを掃除する『自動掃除ロボット』をイメージする
2. 「自動掃除ロボットが走り出し、ブロックを吸い込むと同時に光に変換していくところ」をイメージする



ちなみに、この【自動掃除ロボット】ですが、その後の研究で

「アチューンメント（能力の伝授）が出来る」

ということが判明しています。

なので、さっそく、このテキストにも、『エネルギー的な情報』を組み込んであります。

また、後述の『ブロック解除カード』にも、『自動掃除ロボットのエネルギー』を組み込んでありますので、カードと併せて（カードを手を持った状態で）このワークを行うと非常に効率が良くなります。

なお、潜在意識・エネルギーワークの世界では、

『時間や空間の概念が無く、イメージが実質的な力を持つ』

ということになります。

そして、イメージの世界は何でもアリなので、

「自分のイメージの中で時間を加速させて、10年分集めさせる」
「100台同時に走らせて効率アップ」

ということも出来たりします。

(コラム) ブロック解除ワークの使い分け

ここまで【炎の浄化ワーク】【物質変換ワーク】【自動掃除ロボット】の3つを紹介しましたが、読者の中には、

「ブロック解除ワークって、いっぱいやり方を身に付ける必要があるの??」
「色んなワークをどのように使い分けたいの?」

と思った方もいらっしゃるかもしれませんね。

ここで、その疑問に答えておきたいと思います。

極論すると、**【物質変換ワーク】だけでも、ほぼ全てのブロックを外すことは出来てしまいます。**

とはいえ、やはり、ブロック次第では、『他のやり方を使った方が効率良く外れるものもある』ものです。

イメージとしては、「掃除用具みたいなもの」でしょうか。

雑巾だけでもたいていのお掃除は出来ますが、汚れの種類によっては、タワシが向いていたり、掃除機が向いていたりするものです。

そういう理由で、色んなやり方を紹介していますので、一通り試してみて「これがしっくり来る!」というのであれば、そのやり方を中心にブロック解除してみてくださいね!

実際の使い分けとしては、

「イメージが得意な人は、【物質変換ワーク】【自動掃除ロボット】を中心に活用する」

「イメージが苦手な人は、【炎の浄化ワーク】を中心に活用する」

「お気に入りの解除法でひとまず試してみて、もし外れた気がしなかったら、別のワークを試してみる」

という感じにするとやりやすいでしょう。

なお、ブロックの仕組みとして、

『解放したいブロックを特定して、解放する意図を明確にし、何かしらの行動を取ればブロックは外れる』
ので、**細かいやり方は自分なりにアレンジしてOK**です。

例えば、

「ブロックの特定は【物質変換ワーク】のやり方で行い、解放の方法は【炎の浄化ワーク】のやり方で行う」
ということも可能です。

4.4. 過去生の救出ワーク

「突然の事故死」や、「生死に対する執着があまりにも強い」などの理由で、

「魂の一部が現世に捕われてしまう」

「トラウマを来世に持ち越してしまう」

というケースがあります。

そして、その『成仏できなかった自分の魂の一部』や『前世からのトラウマ』が、今の自分に影響を与えていて、

「なんかよく分からないけど、あと一步のところまで毎回変な選択をしてしまう」

「なんかよく分からないけど、身体の調子がおかしい」

「なんかよく分からないけど、原因不明の難病にかかってしまった」

といったことが起こる場合があります。

よくあるパターンとしては、

「どうしてもスピリチュアル能力を人前で使うのが怖かったけど、その原因を探って行ったら、前世が魔女で、スピリチュアルな能力を使ったことにより『魔女狩り』に遭ってしまったことがあった」

「泳ぐのが怖くて怖くてしょうがないと思ったら、前世で溺れて死んだことがあった」

などなど。

こうした場合、『問題の原因となっている魂の一部』を、正しく『あの世』に帰してあげることによって、状況が変化したりすることもあるわけです。

これを行うのが、

【過去生の救出ワーク】

となります。

ただ、この【過去生の救出ワーク】は、基本的には、その人のガイドと協力の上、行う必要があります。ですから、

『ある程度のチャネリング能力』

『ガイドとの信頼関係』

が無いと、ワークそのものが成り立ちません。

というわけで、このワークは、本テキストでは紹介するに留めますので、興味のある方は

【チャネリングコース（月 5,000 円・満足支払い型）】(http://ms.elty.net/ms_ch/)

に取り組んでみてください。

5. ツールを活用したブロック解除ワーク

5.1. エネルギーカードについて

2013年1月に、

『ブロック解除カード』
『プロテクションカード』

を作成しました。

ブロック解除ワークに取り組む際や、瞑想を行う際に、
このカードを手を持って行うことで、
より効率的なブロック解除を行うことができます。



カードには、自己浄化・自己調整機能を組み込んでありますので、**浄化等は不要で、半永久的に機能**します。
ただし、紙製ですので、**水濡れには注意**してください（濡れてもエネルギー的には大丈夫です）

5.2. カードの価格と注文

エネルギーカードは、以下のフォームより注文することができます。

| |
|---|
| エネルギーカード注文フォーム |
|  |
| http://ms.elty.net/card_order/ |

1枚 : 2,000円

ブロック解除基本セット (計3枚) : 5,000円
(ブロック解除1枚、プロテクション1枚、剣1枚)

ブロック解除の場作成セット (計12枚) : 15,000円
(ブロック解除4枚、プロテクション4枚、剣4枚)

ブロック解除の場作成セット (計40枚) : 40,000円
(ブロック解除24枚、プロテクション8枚、剣8枚)

5.3. カードによる水の浄化

カードの上に、コップやペットボトル入りの水などを置くことで、
水を浄化したり、水にエネルギーを入れたりすることができます。

置いておく時間は、5秒程度で大丈夫です。



5.4. カードの重ね合わせについて

「ブロック解除カード単体では強すぎる！」

「ブロック解除の後の好転反応が大変！」

という方は、**プロテクションカード**などを上に重ねて使うことをオススメします。

プロテクションカードを併用することで、ブロック解除の際の好転反応を和らげることが出来ますし、**剣のカード**を併用することで、より根深いブロックにアプローチしやすくなったりします。



カードの重ね合わせを行う際には、**重ねる順番**によっても効果が違ってくるので、使ってじっくりこないときは、並び順を変えてみてください。

5.5. ブロック解除の場について

カードで周囲を囲むことで、『**ブロック解除の場**』を創ることが出来ます。

この場の中では、特にワーク等を行わなくても、そこにいてだけでブロックが次々と解放されていきます。

部屋の四隅や、ベッドの四隅などに置いて、日常生活やお昼寝をしつつブロック解除をすることも出来ます。ただし、常に**ブロック解除の場**を創りっぱなしというのは避けた方が良いでしょう。



なお、単にこの場の中にいるだけでも構わないのですが、何かしらの刺激を与えて、

「**ブロックの炙り出し**を行う（ブロックが発動している状態を創る）と、より効率的に**ブロックを外せる**」
ので、瞑想したり、雑念を浮かべたり、過去や未来の色々なことに思いを巡らせたりすると効果的です。

6. ブロックの炙り出し

6.1. ブロックに気づくということ

ブロック解除のキモの1つは、

「いかにしてブロックの存在に気付くか」

というところにあります。

何しろ、「自分でブロックに気付きにくい仕組み」が組み込まれているのですから、その存在を探し出すのすら容易ではありませんし、もし見つけたとしても、色んな『言い訳』や『感情的な反応』が出てきて、思わず見て見ぬ振りをしてしまうこともあるでしょう。

ですから、

『代表的なブロックの例』

『機械的に、「これに当てはまったらブロックだ!」と判断できる方法』

を知っておくと、ブロック解除がやりやすくなります。

6.2. 定番のブロック

よくありがちな『定番のブロック』としては、

- 「勉強しなければならない」
- 「出世しなければならない」
- 「お金を稼がなければならない」
- 「学校に行かなければならない」
- 「親のいうことは何でも聞かなければならない」
- 「公共の場では静かにすべき」
- 「自分ってダメなヤツだ」
- 「自分には何も出来ない」
- 「自分は許されるべきではない」
- 「私はお金には縁がない」
- 「人前で上手く喋ることが出来ない」
- 「一日三食食べなければならない」
- 「神仏には手を合わせなければならない」
- 「目上の人には敬わなければならない」
- 「他人の力を借りてはならない」

などがあります。

この中には、「えっ! ? それってブロックなの! ?」と思うものもあるでしょうが、ブロックというのは、抱えている間は当たり前すぎて、それがブロックだと気づけないことも多々あるのです。

6.3. 「自分の発している言葉」からブロックを探る

「機械的にブロックの有無に気付く方法」として、

『自分の発している言葉に注意を払う』

というやり方があります。

自分が喋っている言葉の中に

- 「～しなければならない」
- 「～であるべきだ」
- 「～しないと困る」
- 「当然～」
- 「常識として～」
- 「絶対に～」

などが出てきたら、その奥には、必ずと言って良いほど『ブロック』が潜んでいます。

もし、自分がこれらの言葉を言っていることに気付いたら、その奥を探ってみて下さい。

例えば、

「嫌だけど、明日も仕事に行かなければならない」(～ねばならない)

というのを自分が喋っていることに気付いたら、

「本当にそうか？」

「仕事に行かなかったら何が問題か？」

と、深めていきましょう。

そうすると、おそらく、

「社会人としてこうあるべき」

「お金を稼がなければ生きていけない」

などと出てくるでしょうから、

これに対して、また、

「本当にそうか？」

と突っ込んでみて下さい。

大抵のことは、最終的には、

「意外と、誰も困らない」

「自分で枠を創り出していただけだった」

というところに落ち着くでしょう。

ただし、ここで注意点が2つ。

まず1つ目は、

『望むこと』と『行っていること』に食い違いがある（エネルギーの浪費が起こっている）のが、問題なのであって、

『もし仕事が好きなのであれば、ブロックを外した上で、どれだけ仕事をしていても別に構わない』わけです。

そして、2つ目は、

『嫌なら仕事に行かなくてもいいんだ！ よし、明日はサボろう！』というのは、バランスに欠けた行動』ということ。

僕らは、今まさに物質世界に生きているわけですから、一応は、物質世界のルールにも従わないと、色々と不都合が出てきます。

休みたければ休んで構わないのですが、

「物質世界的な周囲への配慮や、相応の手続き」

も、忘れずに行うようにしましょう。

(コラム) ブロックと攻撃性

同じ価値観の人と過ごしているときには、ブロックはなかなか出てきづらいもので、『価値観の異なる人』と接したときに、ブロックは容易に炙り出されます。

そして、いったんブロックが炙り出されると、『自分の価値観 (=ブロック)』を守るために、異なる価値観の人に攻撃を行ったりすることが多々あります。

例えば、「自分には許されないことを、この人は平然とやっている！」というときに、人は怒りを感じますし、あるいは、「自分には理解できない！」というものに対しては、相手を自分と同じレベルに引き下げようとして、攻撃を始めます。

大抵の場合、攻撃する側はもっともらしい理由を並べてはいますが、客観的によくよく聞いてみると、要は、

「あいつが羨ましい・妬ましい」

「私を〇〇（依存・甘えなど）させてくれないあいつは悪だ」

「自分に理解できないものはみんなダークサイドの存在だ」

ということだったりします。

6.4. 「感情」を辿ってブロックを探る

感情が揺さぶられるとしたら、たいていの場合、その奥には何かしらの『ブロック』があるものです。

特に、

『怒りの感情』
『悲しみの感情』

などが出てきたら、
その奥には、

『幼少期や過去生における、何かしらの原体験』

が存在していることが多いものです。

なお、この『感情』を逆手にとって、『ブロックが外れたかどうかのバロメーター』にすることもできます。

「ブロック解除をしたのに、まだ感情が揺れる」ということは、『そのブロックはまだ外れ切っていない』
ということですね。

(コラム) 能力と人格は一致しない

多くの方が『能力』と『人格』を混同していますが、実際のところは、

「能力と人格は関係がない」

ですし、
ついでに言うと、

「お金と人格は関係がない」
「カリスマ性と人格は関係がない」

ものです。

これらを混同していると、

「凄い人だからいい人だと思って全てを捧げたのに、騙された！」

などということになりかねません。

でも、これらはそもそも別物であって、世の中には、

「能力があって、カリスマ性もあって、お金持ちなんだけど、人格は幼稚園児並み」

という人もいます。

(コラム) 感情の吐き出しについて

いわゆる『心の勉強』『魂の勉強』に取り組んでいる人の中には、

- 「決して怒ってはいけない」と思っている人
- 「ネガティブな感情を出してはいけない」と思っている人

が、多いようです。

これは、半分正解なのですが、半分は誤り。

表面上は同じような『怒り』『悲しみ』であっても、**動機が『向上のための感情の解放』であれば、それはむしろ出した方が良いのです。**

心理学の世界では、『エモーショナル・ディスクロージャー』という言葉がありますが、

「落ち込んだ時に、感情を解放することによって、その後の立ち直りが早くなるもの」
です。

また、潜在意識の仕組み的に見ても、

「感情は、押し込められると、圧縮されて強化される」
という性質があります。

ですから、

**「解放のための怒りはOK」(ただし『安全な場所』で解放すること)
「時には、感情を味わい尽くすことが、押し込めていた感情を解放するための近道」**

というのは覚えておいてください！

物質世界に生きる以上、『感情』も、そして『ブロック』も、放っておけば勝手に色々と積み上がっていくものですし、その対応として、継続的なメンテナンスが必要なものです。

これは、

「自分で散らかした覚えが無くても、いつの間にか部屋にホコリが積もっている」
「大掃除でカンペキにキレイにしても、翌日になったら、またうっすらとホコリが積もっている」

のと同じようなこと。

なので、**ブロック解除と併せて、感情のメンテナンスも日課にするのが望ましいもの**ですね。

6.5. ブロック外しに対するブロック

ブロック解除を進める中で、

『ブロックを外すのを妨げる要因 (=ブロック外しに対するブロック)』

というものに出会う機会があるかと思います。

これに引っかかると、

「そもそも、ブロックを外そうという気になれない」

「ブロックを外そうとすると、モヤモヤして集中できない」

「ブロックを外すこと自体に対する抵抗や、無力感が湧いてくる」

などと感じたりして、

ブロック解除に対する言い訳が次から次へと出てきます。

言い訳の例としては、

「人間関係のブロックを外したら、人前に出る機会が増えるに違いない。それは嫌だ」

「お金のブロックを外したら、仕事が忙しくなって自分の時間が無くなるに違いない」

「ブロックを外したら、ドラマチックな体験が出来なくなって、人生に張りが無くなるに違いない」

「自分にはこのブロックを外せるはずがないから、無駄なことは止めておこう」

などなど。

そもそも、「～に違いない」と言っている時点で、それがすでに思い込みなわけですが、当の本人は、そこになかなか気付けないことが多いようです。

今後、もし、「いまいち、ブロック解除の調子が上がらないな」と感じたら、

「ブロックを外すのを止めているのは、ひょっとしたら、これもブロックかもしれない」

と思い返してみてください。

このことを『知識』として知っておくだけでも、ある程度は予防できることでしょう。

なお、場合によっては、

『(ブロック解除を妨げている要因)を特定するのを妨げている要因』を特定するのを妨げている要因」・・・

という感じで、延々と続いているケースもあります。

とはいえ、これにも必ず限度はあります。

ブロックの量は膨大ではありますが、決して無限ではないのです。

7. その他・ブロック解除について知っておくと良いこと

本章では、これまで紹介した以外に、『ブロック解除を行うにあたって知っておくと良いこと』を紹介します。

● ブロックが外れたかどうかの確認法

「ブロックが外れたかどうか」は、

「同じシチュエーションに遭遇した時に、反応がどう変わるか」

で、確認することができます。

例えば、『お金のブロック』を外したとして、それが本当に外れているかどうかを確認しようと思ったら、

「お金がなくて苦しかった過去の経験」

「将来、経済的に困窮すると仮定したシーン」

などを思い浮かべてみることです。

(※仮定の話に関しては、あまりリアルに描きすぎない方が良いでしょう (笑))

この際、もし「**まだ心が揺れる**」というのであれば、それは**ブロックが外れきれていない**ということです。

ブロックがしっかり外れていると、そうしたシーンを思い浮かべても、平静でいられます。

● 熟練者のサポート効果

『ブロック解除に慣れた人』にサポートしてもらったり、そうした人と一緒にワークをすることによって、

「エネルギー的に、ブロックが外れたかどうかをチェックしてもらえる」

「躓きやすいポイントを指摘してもらえる」

「潜在意識レベルで、熟練者のやり方を学ぶことが出来る (テレパシー的な教育・伝授が起こる)」

「他の人のやり方に同意することによって、そこに溜まっている経験値を自分が使えるようになる」

というメリットがあります。

例えば、未開の地に踏み込む際、最初にそこに行く人は、道を切り拓き、足元を踏み固めながら、時間をかけて一步一步進んで行かなければなりません。

でも、後から通る人は、先駆者と同じ苦勞をする必要はなくて、すでに整備されている道を、楽々と通るだけで良いのです。

すでに実績のあるブロック解除ワークのやり方に同意して行う場合、そうでない人と比べて、同じだけの努力をしても、圧倒的に高い成果を出すことができます。

● グループワークの効用

一人で黙々とブロック解除ワークに取り組むのも良いですが、ワークショップなどで他の人と一緒にブロック解除を行うと、より効率良くブロックを外していくことができます。

例えば、グループで『ブロック解除ワーク』に取り組むことで、

「場のエネルギーを活用できる」

「自分の根深いブロックを解除した時に、周囲の人のブロックもついでに外れる」

「他の人が根深いブロックを解除した時に、自分のブロックもついでに外れる」

というメリットを享受することができます。

● 潜在意識の恒常性維持機能（ホメオスタシス）について

『恒常性維持機能（ホメオスタシス）』とは、

『自分を守るための防衛本能として、慣れ親しんだ場所へ引き戻し、落ち着かせようとする働きのこと』
です。

この機能自体は、生命維持には不可欠なもので、例えば、

「血圧や体温が一定に保たれる」

「物凄く落ち込んだとしても、しばらくすると上向いてくる」

「収入が減ったら、それを補うようなアイデアが浮かんでくる」

というのは、この機能のおかげです。

しかし、この機能は、人間の意識とは裏腹に、ポジティブもネガティブも区別なく維持しようとしします。

ですから、

「ブロックを外した後で、外す前の状態に引き戻そうとする」

「成長しようとした場合にも、元のレベルに引き戻そうとする」

「運気が好転して、幸せになりそうな場合でも、慣れ親しんだ元の不運な状態に引き戻そうとする」

ということにもなります。

この、『いつもの状態』『基準となる状態』が変化しようとする瞬間には、
いわゆる

『試練（「これを乗り越えてでも本当に変化したいのか？」という、潜在意識からの問いかけ的な事件）』

がやってきますが、

この『試練』を無事に乗り越えると、『基準となる状態』が書き換わり、今度は、「新しいステージを維持」するように働いてくれます。

● ハイヤーセルフ（高次の自己）に対する説得

これまでブロック解除のサポートをしてきた中では、
ハイヤーセルフのレベルで、

「将来的にお金持ちになることが決まっているんだから、今はとことん貧乏という状態を体験したい」
「ドラマチックな人生を体験したいので、感情のアップダウンの機会をたくさん創りたい」
「宇宙語を話す必要性が分からないので、とりあえず今のところは喋る気がない」

などと思っているケースがありました。

そこで、チャネリングの技術を用いて相手のハイヤーセルフと対話し（あるいは直接対話してもらい）、

『ハイヤーセルフを説得し、その意見を曲げてもらった』

ということが何度かあります。

ハイヤーセルフとは、セルフ（Self）・・・つまり『自分自身』です。

そして、「この現実世界は、ハイヤーセルフと物理次元の自分で共同創造しているもの」です。

たいていの人は、生まれてくる前に、ハイヤーセルフの次元で、「今生、どう生きるかの計画」を入念に立ててきますが、そうはいつても、「現場（＝地球）に行ってみないと分からない」ということも多々あります。

ですから、「現場のスタッフの貴重な意見」としてハイヤーセルフに提言すれば、案外、聞き入れられることも多いものです。

ただし、ブロックには、『ハイヤーセルフの遊び道具』という側面もありますので、

「貧乏は嫌だから現実を変えてくれ！」

といっても通用しません。

ハイヤーセルフ側の立場に立って、

「確かに貧乏って楽しいよねー！
・・・でもさ、もっと面白いこと見つけたんだ！」

といった提案の仕方をするのが大事です。



あとちょっと！

8. よくある質問とその回答

本章では、『ブロック解除を行うにあたってよく聞かれる質問』について、予め答えておきたいと思います。

● Q. ブロック解除できる自信がありません。本当に私でもブロックを外せますか？

ブロック解除に関しては、

『仕組みを理解しなくても、紹介されたワークの通りにやれば、外れてしまうもの』

です。

車の運転でもそうですが、例えばに

「こんな鉄の塊が動くなんて信じられない！」

「私は車を動かす自信なんて無い！」

と書いていても、

「エンジンをかけて、アクセルを踏めば、とりあえず車は前に進むもの」

ですよ（笑）

ブロック解除も同様に、

「私に出来るとは思えない！」

「そんなことが出来るなんて信じられない！」

と書いていても、

「ワークの通りにやれば外れる」（※もちろん、そのブロック解除ワークが『ホンモノ』という前提！）

のです。

なので、ブロック解除を行うにあたっては、

「自信が無くても、不安でも、信じていなくても良いから、とりあえず実践すること」

です！

また、「それでも、どうしても自信が無い！」という人は、もし可能であれば、ワークショップに参加するなどして、**熟練者に直接指導してもらおうと良い**でしょう。

特に『エネルギーを感じ取れる人』にサポートしてもらえば、ブロック解除前後の、エネルギーの動きも確認してもらおうことが出来ますから、より深いところまでチェック・指導してもらえます。

- Q. 家族に対するブロックを外すことによって、家族を蔑ろにするようになりませんか？

『ブロックがある状態』というのは、「無意識的に固定された反応を行う状態」のこと。

つまり、『(この質問で言うところの) 家族に対するブロックがある状態』というのは、

『「親の都合を優先して、自分のやりたいことを我慢しなければならない」という一択しか無い状態』
のことです。

もし、ブロックが外れると、

「親の要望も分かるけど、このケースだったら自分優先だな」
「この場合は親の要望に添った行動をしよう」

などといった感じで、

『自分の意志で選択できる』

ということになります。

ブロックを外したからといって、無秩序に行動する必要はありません。

ブロックを外した上で、空気を読んで行動すれば良いのです。

- Q. ネガティブなことを吐き出したら、それを引き寄せたりしないですか？

『ブロック解除のための感情の解放』と、『引き寄せのための感情の解放』は、別物です。
ブロック解除のために感情を吐き出しても、それを実現させるようなことはありません。

それどころか、むしろ、

「ネガティブな感情を外に出すまいと圧をかける方が、より、そのネガティブなことが実現しやすい」
「ネガティブな感情を押し込めると、家族や友人を通してそれらが噴出してくる」

という面もありますから、

「そうなる前に、安全な場所で適度に吐き出す」

というのをオススメします。

なお、『引き寄せの法則』と『ブロック解除のルール』、どちらが適用されるかは、その『動機』によります。

ですから、(ある程度慣れるまでは) ブロック解除のための感情の吐き出しを行う際に、

「今からブロック解除のワークを始めます！」

と宣言してから行くと良いでしょう。

- Q. ブロック解除って、どれくらいの頻度で、何日くらいやればいいんですか？

ブロック解除は、部屋の掃除と同じく、「出来れば毎日、一生続けるもの」です。

物質世界に生きる以上、いったんブロックが完全にクリアになったとしても、翌日になったらまたホコリのように薄っすらと積もっていることでしょう。

ですから、目安としては、「1日1回以上」。

お風呂に入ったりするのと同じ感覚で、ブロック解除を習慣化すると良いでしょう。

また、

「定期的に、大掃除レベルの、大規模なブロック解除にも取り組むようにすると良い」

ですね。

- Q. A-Kiさんはどれくらいブロック解除やったんですか？

僕の場合は、

「自分のブロック解除に取り組み始めた時には、1日3回、3ヶ月間ほぼ毎日、
炎の浄化ワークと物質変換ワークをやっていた」

「今でも、毎日、エーテルコードのカット、浄化、浄霊、クリーニングを日課として行っている」

という感じです。

ガンバった甲斐あって、相当軽くなっているのですが、全てのブロックが外れたわけではありません。

それくらい、「ブロックは、とんでもない量、存在している」わけです。

(そして、全てのブロックを外さなければならないということでもありません)

ちなみに、これも僕の例ですが・・・

ブロック解除をする中で、吐くまでやったこともありますし、怒りのあまり壁に穴を空けたこともありますし、エネルギー酔いして朝から夜まで寝ていたこともあります(^_^;

ブロックを解放する上では、色んな感情に向き合ったりすることになりますので、一連の出来事において、

「ブロックを持っている事自体に罪悪感を抱く必要はない」

「吐き出しのために、一時的に荒れることに対して、罪悪感を抱く必要はない」

というのは、心の片隅に置いておいてくださいね。

- Q. ブロックをやっつけろ！という人がいましたが、あれはどうなのでしょう？

そもそも、ブロックは、自分で創り出したものであって、

『ブロックの原材料は自分自身のエネルギー』

です。

つまり、ブロックを破壊するというのは、自分のエネルギー体を傷付けるようなもの。
自分で自分を攻撃するのと同義です。

しかも、その破壊の過程で、ブロックに対するネガティブな信念を強化してしまったり、新たに別のブロックや、自分の中での分離を生み出してしまうということも多々あるでしょう。

ですから、怒りの感情にまかせてブロックを破壊するのではなく、あくまでも、

『ブロックを、今の役割から解放する』

という姿勢が大事。

そうすることによって、

「これまでブロックの維持に使っていたエネルギーを、安全に、別の分野に使えるようになる」

のです。

9. 終わりに

2012年以前、ブロック解除ワークは、「時代の流れに敏感な先駆者が熱心に取り組むもの」でした。

2013年、ブロック解除ワークは、「スピリチュアルなことに関わる人全般にとって、もっと身近なもの」になってきています。

さらに、それ以降は、「ブロック解除ワークは出来て当たり前」という世界になっていくでしょう。

現状でこそ、

「自分はブロックを大事に抱えていながら、それでいて、ブロック解除を生業にしているライトワーカー」は、辛うじて生き延びることができていますが・・・

今後は、受け取り側の目覚めもますます加速していくでしょうから、そうした人たちは、急速に淘汰されることになるでしょう。

・・・さて。

本書を通して、ここまでで、

- 『ブロック解除に関する知識』
- 『ブロック解除に関するやり方』
- 『ブロック解除を行う際に必要な心構え』

を、一通りお伝えしてきたつもりです。

後はとにかく

- 『自分で毎日取り組む』
- 『ひたすら繰り返す』
- 『時には、仲間と一緒に解除し合う』

こと。

ブロックが膨大な量あるとはいえ、

- 『外せば外した分だけ軽くなる』
- 『取り組みれば取り組むほど、現実が変わってくる』

ので、しっかり取り組んでいきましょう！

そして、どうせやるなら、出来る範囲で楽しんで行きましょうね^^

- 色々と紹介

【メールセミナー：魔法使い養成講座】（無料）

【メールセミナー：チャネリング講座】（月額5,000円・満足時のみ後払い）

【メールセミナー：お金と豊かさのコース】（月額5,000円・満足時のみ後払い）

メールで（ほぼ）毎日、講座をお届けします。

ケータイでも受講可能です。

| 魔法使い養成講座 | チャネリング講座 | お金と豊かさのコース |
|---|---|--|
|  |  |  |
| http://ms.elty.net/ms_kiso/ | http://ms.elty.net/ms_ch/ | http://ms.elty.net/ms_okane/ |

【質問掲示板】 (<http://ms.elty.net/bbs/>)

【各種アチューンメント】 (<http://ms.elty.net/attunement/>)

【エネルギーカードの注文】 (http://ms.elty.net/card_order/)



左から、

『チャネリング支援』

『ヒーリングのサポート』

『浄化・浄霊・エーテルコードのカット』

『プロテクション』

『ブロック解除』

です。

| エネルギーカード注文フォーム |
|--|
|  |
| http://ms.elty.net/card_order/ |